

## 電子教材開発に係るニーズ調査集計報告

2019/7/8

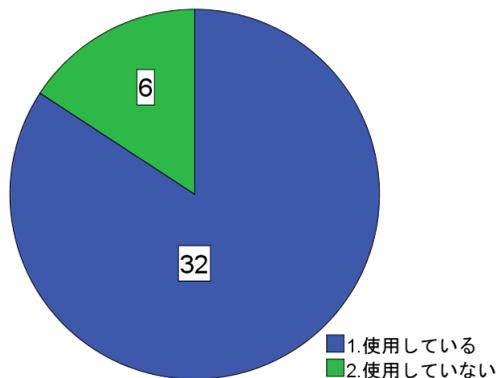
### [概要]

教材開発センターの提供する講義収録及び種々のICT技術を活用した教材開発支援などのサポート活動について、学内における需要の調査をWebアンケート形式で実施した。

回答期間は2019年6月10日(月)～30日(日)、専任教職員1682名に対して部局からメールによる通知を行った。有効回答数は38名(回答率0.02%)、内実名で当センターからの連絡を希望した教員は8名であった。以下、個別の設問ごとの集計結果を記す。

問1. 対面の授業においてICT(e-Learning教材あるいは学習支援システム)を使用していますか？ \*

1. 使用している 2. 使用していない



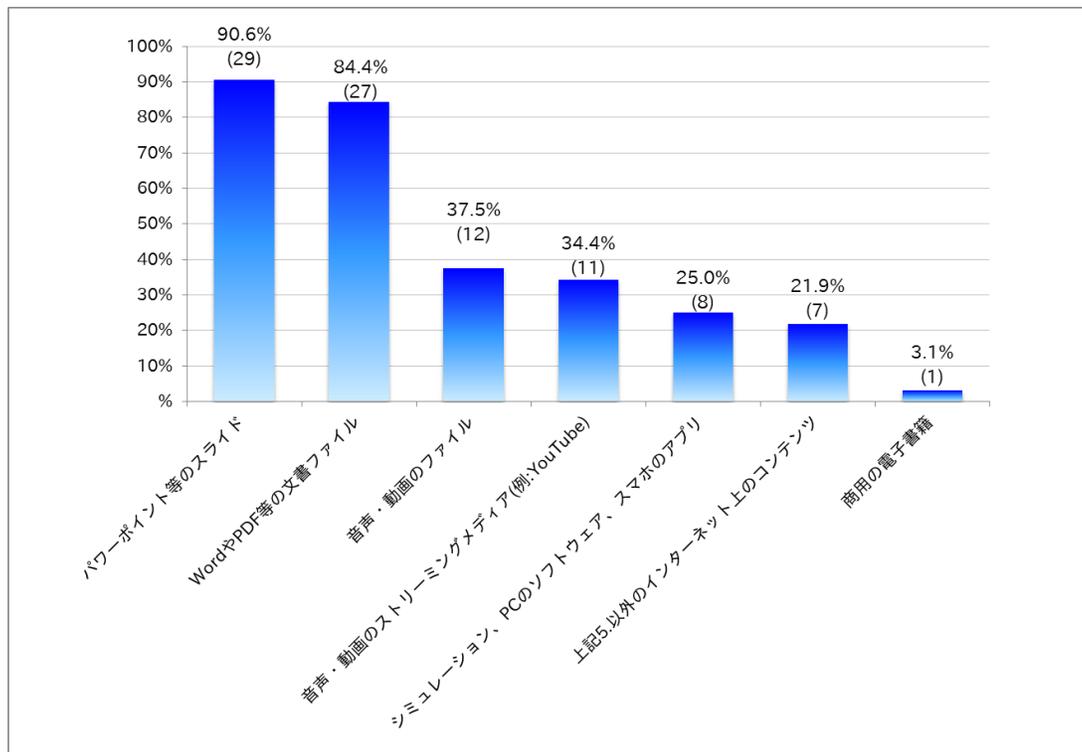
問2(1). 問1で「使用している」とお答え頂いた方は、使用しているe-Learning教材にあてはまるもの全てを下記の中からお選び下さい。

パワーポイント等のスライド  WordやPDF等の文書ファイル  商用の電子書籍

音声・動画のファイル  音声・動画のストリーミングメディア (例:YouTube)

上記5.以外のインターネット上のコンテンツ

シミュレーション、パソコンのソフトウェア、スマートフォンのアプリ



「シミュレーション、パソコンのソフトウェア、スマートフォンのアプリ」をお選び頂いた方は、製品名や機能等の詳細をご記入ください。

e-土壌図：スマートフォンのアプリで土壌図を見ることができる。

Fusion 360, Inkscape, Virtual Box

学会などが出している設計評価アプリケーション

(建築学の分野では省エネルギー法に関連する設計支援ツールなど)

slack などによる質問受け(講義での使用は少なく専ら研究室の学生の指導、連絡に用いる)

python+matplotlib で作った簡単なアニメーション

電子通貨アプリの「actcoin」および「kou」(受講生同士のピアレビューの効率化と可視化を行う)

iPhone アプリの「加速度ロガー」「SpectrumView」

イマキク (リアルタイムのアンケートや学生からの質問受付のために使用していたが、Google のアンケートが無料で機能も豊富な様なので乗り換える予定)

kahoot!など

Python, Mendeley, VSCode など

計 10 名

問 2(2). 問 1 で「使用している」とお答え頂いた方は、使用している学習支援システムにあてはまるもの全てを下記の中からお選び下さい。

Learning Management System (九州大学の Moodle 等)

e ポートフォリオシステム (九州大学の Mahara 等)

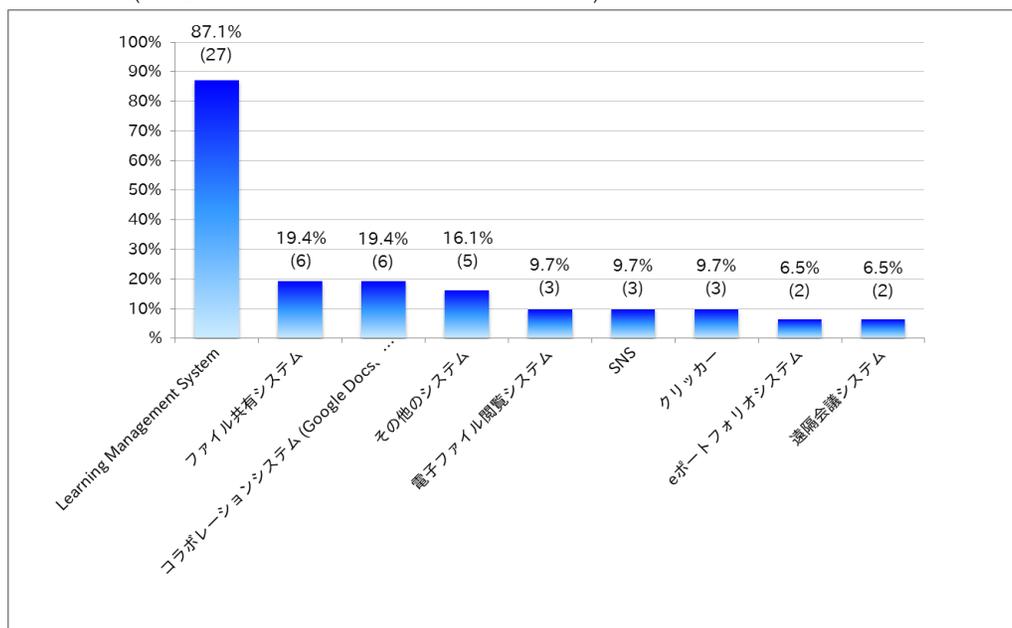
電子ファイル閲覧システム (九州大学の BookQ 等)  遠隔会議システム (ポリコム、Skype 等)

ソーシャル・ネットワーキングサービス (Facebook、Twitter、LINE 等)

クリッカー (レスポナアナライザ等)  ファイル共有システム(Proself 等)

コラボレーションシステム (Google Docs、SharePoint、Office365 等)

その他のシステム(上記以外の製品や自作ソフトウェア等)



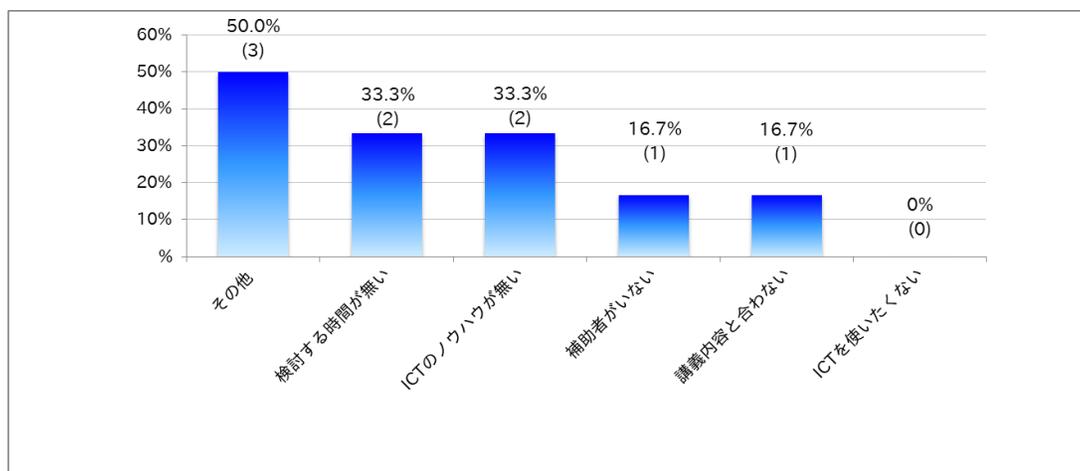
「その他のシステム」をお選び頂いた方は、製品名等をご記入ください。自作の場合には機能等詳細をご記入下さい。(例：自分で作成した教材閲覧システム)

自作したサイバーセキュリティ教育用の演習システム  
学内のローカルネットワーク内に設置した wiki(RaspberryPi に突っ込んだ PukiWiki)  
※但しあまり有効に活用できていない。  
Slack

計 3 名

問 3. 問 1 で「ICT を使用していない」とお答え頂いた方にお聞きします。使用していない理由にあてはまるもの全てを下記の中からお選び下さい。

- 講義内容と合わない  検討する時間が無い  補助者がいない  ICT のノウハウが無い  
 ICT を使いたくない  その他



「その他」とお答えの方は、具体的にご記入ください。

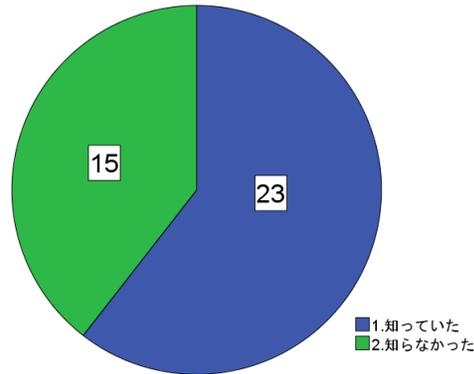
システムを利用できることを知らなかった  
パワーポイントファイル紙媒体で配布している  
(著作権法上の扱いが、紙媒体と電子ファイルとで全く異なっている為)  
Moodleや他のプログラムが英語で機能しないことは非常に残念です。  
九州大学の学生は悪影響を受けています。大学ランキングにも悪い

計3名

問 5(1). 教材開発センターは、教材作成支援(講義等ビデオ撮影・編集・公開、対話型電子教材(教材アプリ等)作成、電子教材作成に係る講習会の実施)、個別のご要望による ICT 使用授業支援ツールの作成、教材制作のための機材の貸出し等のサービスを行っています。当センターのサービスをご存知でしたか？

以下からお選び下さい。

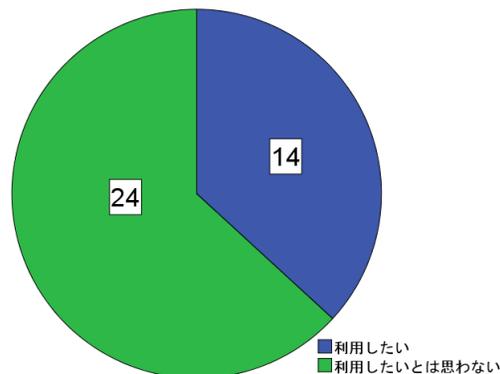
- 1.知っていた 2.知らなかった



問5(2). ご担当の講義について、当センターのビデオ撮影・編集・公開サービスのご利用をお考えですか？

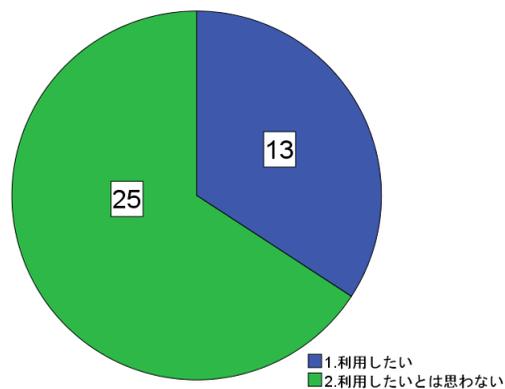
以下からお選び下さい。

- 1.利用したい 2.利用したいとは思わない



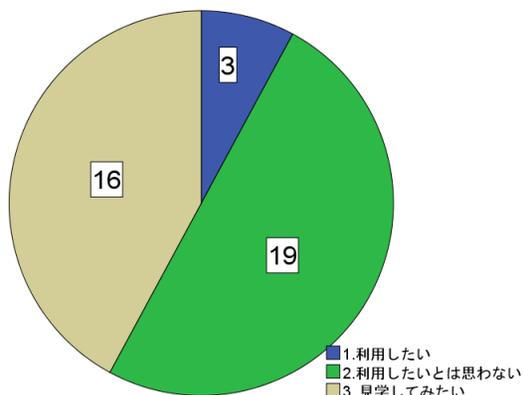
問5(3). ご担当の講義について、当センターの対話型電子教材(教材アプリ等)作成支援サービスのご利用をお考えですか？以下からお選び下さい。

- 1.利用したい 2.利用したいとは思わない



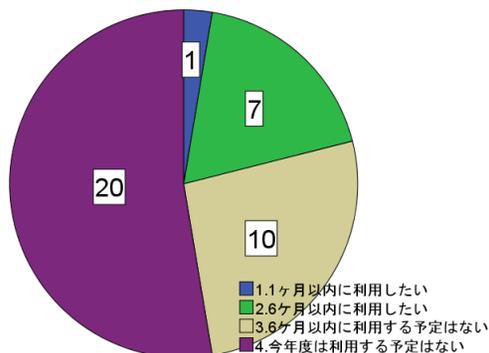
問5(4). 当センターは、クロマキー合成(背景を合成することができる)映像を撮影できる専用のスタジオを有しています。講義等の映像制作のためにスタジオをご利用いただくことが可能です。このスタジオのご利用について、以下からお選び下さい。 \*

1. 利用したい
2. 利用したいとは思わない
3. 見学してみたい



問5(5). 当センターのサービスのご利用の可能性について、以下からお選び下さい。 \*

1. 1ヶ月以内に利用したいと思っている
2. 6ヶ月以内に利用したいと思っている
3. 6ヶ月以内に利用する予定はない
4. 今年度は利用する予定はない



問5(6). (5)で「1ヶ月以内に利用したいと思っている」「6ヶ月以内に利用したいと思っている」をお選びの方にお聞きします。どのようなご利用を検討されているか簡単にお聞かせ下さい。

3Dプリンターなどの成型機器を利用したい。

主目的は講義より研究や研究室の教育寄りだが、研究用の設備の使用方法、データロガーの操作方法などに関する資料が作れるとありがたい。学生がスマホで講義の動画を撮ろうとする(普段の講義はご免こうむりたいが…)ところを見ても需要はあると思うので、5~10分程度のhowtoやDon'tノウハウをまとめた動画教材を作る予定である。

利用シーンについてのアイデアはいろいろあるのですが、手続きに時間と手間をとられるイメージがあり、一歩踏み出せずにおります。

動画の撮影設備を見学したい。

講義の動画収録ができれば、反転学習で利用したい。物理データ取得(加速度や音波等)と解析、可視化が簡単にできるアプリが作れたら、授業で利用したい。

講習会の模様をビデオ撮影したい。また、これをもとにMoodleから配信するe-Leaning教材を作成したいと考えている。

質問と違って恐縮ですが、利用したいと思わないと回答した理由は具体的なイメージを持っていないことです。実際の使用例などがイメージできると自分の授業に組み込めるかの構想が立てやすいと思いましたが大橋キャンパスにいるため、なかなかそちらの様子が見つめません。大橋での講義やワークショップなどを撮影していただくことはできるのでしょうか。有料なのでしょうか。

問6回答にあるようなことにヒントがあればご協力願いたい。

計8名

問6. 当センターに「こんなビデオ教材を作りたい」「こんなサービスがあったらいい」「こういう教材ができたらいいい」などのご要望がありましたら、是非お聞かせ下さい。

小学生のプログラミング教育用の電子教材

サイバーセキュリティ教育用のサイバーレンジ"

所属する中央分析センターでは機器の利用方法などを動画撮影し、webにアップしたいと考えております。現地での撮影になるのですが、ご協力を要請することは可能でしょうか？

動画として配信したいが、正直これをyoutubeなどにupされてはたまらないという思いもある。

「学生個人の学習にのみ使用し、SNSなどにアップロードしてはいけない」というメッセージを、法的根拠と発生するリスクを示した上で説明できるようになりたい。これらに関連する知見があれば伺いたい。

教材ではないが、各部局へのルートや地図、写真をよりインタラクティブにアクセスしたい。

(初めて訪問する人にとってわかりにくい)たとえば、出発：九大学研都市 到着：言語文化研究院凝った動画ではなくて良いので、気軽に利用できて、簡単にビデオ教材が作れたら良い。

高压ガス取り扱い講習会出席と同等な e-Leaning 教材の作成

著作権上の問題があるかないかを正確に判断して頂きたいです。引用として扱えるかさえ良くわかりません。(例えば、教科書から原子核の様子を表す1枚の図をとって、30枚のスライドの1つとして使ったとしても、その図を使って、原子核の説明をした場合には、厳密には引用として認められないと思います。すなわち電子ファイルとして配付すると、著作権法に違反することになると思います。)

授業では、教科書などからとってきた、カラーの図やムービーを見せることで、理解が深まるので、パワーポイントファイルとしてそれを見せて、出典を示しています。しかし、これを電子ファイルにして配付すると、著作権法に違反するが、紙で配付すれば、著作権法に違反しません。それが、クリアされない限り、ICTを使うことはできないと思っています。

無料で使用できる教育に役立つアプリ情報の公開など

ビデオや動画における日英中の翻訳と字幕表示

伊都の講義を大橋から遠隔で簡単にできたらうれしいです。設備の問題だけではないかもしれませんが。芸術工学部では来年4月に改組が行われます。新しくできるコースに関する紹介ビデオなどを作成し、公開したいと考えているのですが、支援いただくことはできるのでしょうか。

私は歯科の中でも画像診断（一般的に言うと放射線科の領域）を専門にしております。学生への教育もそのあたりが中心で、（歯科の）レントゲンの撮影法を教えたり、読影を教えたりといったことをしています。撮影法教育（これはこれで相談したいことはあるのですが）はおいておいて、読影に関しては基本的にレントゲン（歯のレントゲン～CT,MRI など）を提示して、学生にレポートを書かせるということがスタンダードです。ただ、実際の臨床の場では患者さんを診察し、まずどういったレントゲンが必要かを判断し、撮影し、読影という流れです。よって、その撮影法を選択しなかった歯科医師は（現実世界では）その画像を見ることはできません。診察→レントゲン→診断が一方ならロールプレイングもやりやすいのですが、実際は診察→レントゲン→（その結果を見て別の）検査・レントゲン→追加問診→診断という流れになります。PCに向かい合った学生が患者の基本資料（病歴、顔貌写真：最近の流れから言えば勝手に受け答えしてくれる AI みたいなのがおもしろいんでしょうが）から最初のレントゲンを決め、その決めたレントゲンのみ表示、とりあえず読影させ（ここで診断がつけば終了）、さらに別の検査（当科の専門性でいうと CT など）を決め、その決めた検査結果のみ表示、それを読影し、最終診断する。という流れを組み込みたいのです。九大の moodle には難しいかもしれませんが、自分でたてた moodle サーバーにでも入れられるような問題バンクプラグインなど最適なものがあれば、便利かと探していますが、なかなか見つかりません。

計 13 名

以上